

製品名: ERG ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21181**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	ERG
別名	
遺伝子 ID	2078.0
SwissProt ID	P11308
免疫原	ヒト ERG の合成ペプチド

背景

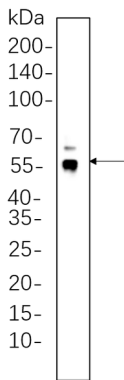
細胞局在: 核。この遺伝子は、赤芽球形質転換特異的 (ETS) 転写因子ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーはすべて、胚発生、細胞増殖、分化、血管新生、炎症、およびアポトーシスの重要な調節因子です。この遺伝子によってコード

されるタンパク質は主に核で発現します。ETS DNA 結合ドメインと、キメラがんタンパク質の自己会合に関与する PNT (先端) ドメインを含みます。このタンパク質は、血小板の内皮下層への接着に必要であり、血管細胞のリモデリングを誘導します。また、造血、巨核球細胞の分化および成熟も制御します。この遺伝子は染色体転座に関与しており、前立腺がんにおける TMPSSR2-ERG および NDRG1-ERG、ユーイング肉腫における EWS-ERG、急性骨髄性白血病における FUS-ERG など、様々な融合遺伝子産物を生み出します。3つの選択的プロモーターと複数の選択的スプライシングの組み合わせから生じる 20 以上の転写バリエーションが報告されていますが、これらのバリエーションの多くは全長が未解明です。[RefSeq 提供、2014 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



マウス胸腺全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を ERG ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。